



2020年9月11日

各位

会社名 株式会社 鳥貴族
 代表者名 代表取締役社長 大倉 忠司
 (コード番号: 3193 東証第一部)
 問合わせ先 管理部 部長 小畑 博嗣
 (TEL. 06-6562-5333)

**特別利益及び特別損失の計上、通期業績と前期実績値との差異並びに
 剰余金の配当（無配）に関するお知らせ**

当社は、2020年7月期累計期間の決算において、特別利益及び特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、通期業績と前期実績値との差異並びに剰余金の配当についても下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等の支給申請の実施により「雇用調整助成金」を768,316千円計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

(1) 店舗臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業を行ったことから店舗の臨時休業期間中に発生した固定費（人件費・地代家賃・減価償却費等）を「店舗臨時休業による損失」として658,672千円計上いたしました。これにより第3四半期までに計上した「店舗臨時休業による損失」と合計した2020年7月期の累計額は1,890,339千円となりました。

(2) 減損損失

退店の意思決定を行った当社運営の「鳥貴族」7店舗のうち6店舗及び収益性の低下がみられた一部店舗について、「減損損失」を676,388千円計上いたしました。これにより第3四半期までに計上した「減損損失」と合計した2020年7月期の累計額は820,881千円となりました。

3. 2020年7月期通期業と前期実績との差異（2019年8月1日～2020年7月31日）

(1) 当期実績と前期実績との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期実績 (A) | 35,847 | 1,190 | 1,145 | △286 | △24.69 |
| 当期実績 (B) | 27,539 | 983 | 955 | △763 | △65.88 |
| 増減額 (B-A) | △8,308 | △207 | △189 | △477 | |
| 増減率 (%) | △23.2 | △17.4 | △16.5 | — | |

(2) 差異が生じた理由

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を背景に、国内におきましても政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、感染拡大の防止のため2020年4月4日から5月18日までの期間は、直営店全店の営業を自粛し臨時休業を行いました。5月19日以降、順次営業を再開し厚生労働省や各自治体、日本フードサービス協会等のガイドラインを参考とし、新型コロナウイルス感染症対策に取り組み店舗運営を行ったものの、営業自粛が大きく影響し、売上高が大きく減少するとともに各段階利益についても前期を下回る結果となりました。

4. 剰余金の配当について

当社は、本日開催の取締役会において、2020年7月31日を基準日とする剰余金の配当を見送ることを決議いたしました。

(1) 配当の内容

| | 決定内容 | 直近の配当予想 (2020年6月5日公表) | 前期実績 (2019年7月期) |
|----------|------------|--------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2020年7月31日 | 同左 | 2019年7月31日 |
| 1株当たり配当金 | 0円00銭 | 未定 | 4円00銭 |
| 配当金総額 | — | — | 46百万円 |
| 効力発生日 | — | — | 2019年10月25日 |
| 配当原資 | — | — | 利益剰余金 |

(2) 理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営目標と認識しており、剰余金の配当につきましては、毎期の業績、財政状況を勘案しつつ、将来の事業拡大のために必要な内部留保とのバランスを図りながら配当による利益還元を安定的かつ継続的に実施する方針であります。

しかしながら、2020年7月31日を基準日とする配当につきましては、当期業績等に鑑み、誠に遺憾ではありますが無配とさせていただきます。

また、2021年7月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

以上